

進路部における保護者支援の取り組み

『障がい者福祉制度のてびき ～Q&A～』作成を事例に

交野支援学校四條畷校・進路部

1 はじめに

進路部においては、卒業後の豊かな生活の実現にむけて、様々な取り組みを行っている。進路支援においては、本人への支援が最も重要であるが、それと並んで保護者への支援も重要である。そこで本稿では、高等部を中心とする保護者への進路支援の取り組みについて紹介する。

2 高等部進路支援 1年間の主な行事

月	全体に関わるもの	福祉関係	就労関係
4	保護者進路説明(高 1,2)☆ 個別進路懇談(高 3)☆		
5	↓	施設見学会(高 2,3)☆	
6	市別福祉懇談(高 3)☆	↓	企業体験実習(高 2) 企業現場実習(高 3)
7		施設現場実習(高 3)随時 アセスメント実習(高 3)	職業相談(職安)☆ 就業・生活支援センター登録
8			職業的重度判定(職業センター)☆
9	個別進路懇談(高 3)随時☆ 高 1 進路説明会☆		
10	卒業生進路講話 (高等部)	↓	企業現場実習(高 3) 企業体験実習(高 2)
11		PTA 施設見学会(全校)☆ 高 3 進路希望調査☆	職業訓練校等試験
12	生徒施設見学会 (高 1)	↓	高 3 現場実習随時
1	高 1・2 進路説明会☆	施設利用のための面接・実習☆	↓
2	高 3 進路講演会☆	施設利用決定、申請手続き 施設見学会 (高 1・2) ☆	職業訓練校可否発表
3	進路希望アンケート(高 1・2 年)(「個別の教育支援計画」様式 3「本人、保護者の願い」)☆	↓	就職
		卒業後実習 (一部施設で実施)	

☆がついているものが保護者への支援に関するものである。以下、その概要を紹介する。

○進路説明・市別福祉懇談

高1、高2の1学期の学年懇談会で、高等部3年間の進路支援の大まかな流れと当該学年での取り組みなどについての説明を行います。高3の1学期に、在住市の障がい福祉課および障がい者相談支援センター、大阪府障がい者自立相談支援センターのケースワーカー、就業・生活支援センター、公共職業安定所による市別懇談会を実施します。

○個別進路懇談

高3の1学期（全員）および高3の2学期以降も随時（希望者）、卒業後の進路に向けた懇談を学校で実施します。

○高3進路講演会・高2進路説明会

3学期に高3保護者対象に、障害基礎年金の申請方法・後見支援制度についての進路講座を実施します。また、高1・2保護者対象に進路決定までの進め方についての説明会を実施します。

○施設見学会

高等部では、5～7月（高2・3）と2～3月（高1・2）に保護者対象（生徒も参加可）で、2学期にはPTA進路部と共催で、全校保護者対象に福祉施設や訓練校などの見学会を実施しています。

○職業相談

就職希望者対象に、管轄のハローワークへ出向き、求職登録や地域の障害者就業・生活支援センターのワーカー等からの職業講話に参加します。

○施設現場実習（高3）

高3では希望者が夏休みおよび随時、家庭からの送迎で1日～1週間程度の期間参加します。この実習では、家庭から保護者の責任の下（一人で通える場合は一人で）各福祉施設に行き日中の活動を体験します。基本的に各福祉施設の時間帯に合わせて登所・降所しますので、利用者の方と同じように日中活動を体験することができます。

3 その他の保護者支援に関する取り組み

○『進路のてびき』の発行

本校の進路支援の流れ、卒業生の進路状況、障害者総合支援法の概要、福祉サービス利用手続き、各市の福祉サービス事業所等の一覧などが記載された40ページ前後の冊子である。

毎年、最新情報に改訂の上、4月に発行している。

○『福祉施設案内 - 主な日中活動の場 - 各市版』の発行（高等部保護者対象）

校区を中心とした各市の日中活動を提供する福祉施設を1施設1ページで紹介した冊子である。各事業所に原稿依頼を行い作成している。「四條畷市・校区近隣市版」（21施設）、「大東市版」

(31 施設)、「東大阪市 A～D 地域」(36 施設)、「東大阪市 E～G 地域」(27 施設)の計 115 施設を紹介している。

○『進路部だより』の発行

本校での進路行事の紹介、地域の福祉施設のイベント情報、校区内に新たに開設された福祉施設情報等を年 12 号程度発行している。

4 『障がい者福祉制度のてびき ～Q&A～』

以上が、本校のこれまでの保護者への進路支援の主な取り組みである。このような取り組みを行っている中で、進路部へ保護者から様々な質問をいただく。その内容は多岐にわたるが、その中には障がい者福祉制度に関する質問が毎年一定ある。

そこで今回、そのうち 14 項目を集め『障がい者福祉制度のてびき ～Q&A～』を作成した。この冊子の特徴は、次の点である。

○内容の厳選

従来の『進路のてびき』は、その質・量ともに充実しているよさがあるが、一方で「むずかしすぎる」という声があった。そこで、今回は内容を 14 項目に厳選した。

○読みやすいページレイアウト

文字の大きさを大きく、字間を広くとることで読みやすい冊子とした。また、イラストや図を多用することで、一目で内容が理解できる体裁をめざした。

この冊子は、「わかりやすさ」を最優先に作成した冊子である。この冊子が、保護者への進路支援の一助となることを期待している。